

理 由 書

委員会として提案した「天然芝（寒地型芝：ケンタッキーブルーグラス・ペレニアルライグラス・トールフェスク混合）」の理由については、以下のとおりである。

- 1 埼玉スタジアム2002における日照条件を考慮すると、「天然芝（暖地型芝）」は年間を通じて良い状態を維持することが難しい。
一方、「天然芝（寒地型芝）」は、埼玉スタジアム2002での夏季の高温を乗り切ることが難しい状況にあるが、地温コントロールシステムが備わっていることにより、良い状態を維持することが可能となっているため。
- 2 委員会が提案した「天然芝（寒地型芝）」は、現在の芝生のフィールド管理や利用の状況などを踏まえると、3種の芝草種の混合率や管理方法による展開で、今後の埼玉スタジアム2002の利用拡大に対応できるため。
- 3 埼玉スタジアム2002の現在の芝種でもある「天然芝（寒地型芝）」で浦和レッズをはじめとする利用者がプレーするにあたり、芝種に対する不満、改善要望は聞かれていないため。
また、現在の「天然芝（寒地型芝）」での年間を通してのピッチの状態に対して、Jリーグからも高く評価されているため。
- 4 埼玉スタジアム2002では、これまで多くの日本代表戦が開催されており、また、好成績を上げていることを考慮すると、現在の「天然芝（寒地型芝）」を変える必要はないと考えるため。

張替にあたっての要望事項

委員会として張替にあたり、以下の事項について要望する。

- 1 埼玉スタジアム2002における県民の利用価値と利用拡大の促進（多目的利用）を望む。
- 2 浦和レッズのホームグラウンドでもあるため、選手やチームが望むフィールド環境を叶えることができるフィールドの造成や管理技術の対応を望む。
- 3 埼玉スタジアム2002の進化と展開を図るため、また、多目的利用、選手とチームが望むターフクオリティ実現のために、管理技術ならびに管理運営に携わるスタッフの更なる認識と対応を期待する。

張替にあたっての留意事項

現在の「天然芝（寒地型芝）」は、現地での播種から造成された。

今後の芝張替では、芝生生産圃場から運搬・導入が想定されるため、現状の管理技術と異なることを留意すること。